

事業評価調書

基本情報

年度	令和 4年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38486
事業名	アジアゾウ飼育技術向上・繁殖推進費					
評価担当課	所属名	環)円山動物園 保全・教育推進				
	課長名	前野 良史	担当者名	坪松 耕太	電話番号	011-621-1427
施策名	主	生物多様性が広く理解され、地域本来の生態系が維持された中で自				
副						
アクションプラン	対象	<input type="radio"/> 対象外	戦略ビジョン	<input type="radio"/> 対象	対象外	
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費	<input type="radio"/> 臨時的経費				
	<input type="radio"/> 内部管理	<input type="radio"/> 法定経費	<input type="radio"/> 指定管理			
実施形態	<input type="radio"/> 直営	<input type="radio"/> 一部委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 補助助成	<input type="radio"/> その他	
目的	短期	ゾウの群れ飼育に必要な技術及び知識の習得のために研修を行う。事業目標 ゾウの繁殖頭数 1頭				
	長期	種の保存に貢献できるよう繁殖を推進するとともに、ゾウの飼育展示を通じ、環境教育を充実させることで、円山動物園が掲げる基本理念「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」の実現を目指す。				
事業内容	取組内容	当園が取り入れる「準間接飼育」でのアジアゾウの健康管理及び飼育職員の安全管理のため、海外のゾウ専門家による職員への技術研修を実施する。 令和元年度4回、令和2年度3回（新型コロナウイルスの影響でオンライン1回のみ実施）、令和3年度3回（新型コロナウイルスの影響で2回はオンライン）、令和4年度2回（アジアゾウの出産準備の関係で1回はオンライン）情報収集や職位交流を目的として（公社）日本動物園水族館協会が開催するゾウ会議へ参加する。 令和元年度、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で中止、令和3年度は円山動物園が開催園としてオンラインにて開催、令和4年度は2名（動物専門員、診療担当係の技術職員（獣医師））が参加 令和4年10月にアジアゾウ「パール」の妊娠が判明したことから出産に向けた施設等の準備を実施する。				
	実施結果	当園で飼育するアジアゾウ「パール」が妊娠している可能性が高いことから、8月に海外のゾウ専門家を招聘し、これまでの一般的な健康管理方法に加え、出産に向けての準備等についての研修を実施するとともに、山口県周南市で開催されたゾウ会議に出席し、これまでアジアゾウの繁殖を実施した他園館から情報収集を行った。また、アジアゾウの出産に備え、仔ゾウの安全対策や健康管理に必要となる獣舎の改修及び備品等の購入を実施した。				
事業実施における工夫点	ゾウ専門家の研修は、他園館と協力して実施することで、専門家招聘に係る費用の削減を図っている。また、年2回実施を予定したゾウ専門家による研修について、1回分をオンライン会議として費用を削減し、それらを出産準備に必要な物品の購入に充てた。					
対象者	市民、来園者、飼育動物	開始	平成31年度	終了	令和 4年度	
関連法令・条例・要綱等	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約（ワシントン条約）、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律、動物の愛護及び管理に関する法律					
他都市の状況	国内飼育状況 アジアゾウ飼育園館：34園館80頭、ペアでの飼育園館：16園館研修の実施 多摩動物公園 H25から現在まで実施					

事業費

(単位：千円)

		令和 3年度決算	令和 4年度予算	令和 4年度決算	令和 5年度予算
事業費		2,843	55,100	48,259	6,500
うち特定財源		0	33,000	0	0
人工		4.40	5.20	5.20	5.20
人件費		31,680	37,440	37,440	36,920
計（事業費＋人件費）		34,523	92,540	85,699	43,420
事業費の内訳	令和 4年度決算	海外専門家招聘研修：3,185千円 ゾウ会議出席：243千円 出産準備のための改修・物品購入：44,831千円			
	令和 5年度予算	海外専門家招聘研修：5,890千円 ゾウ会議出席：210千円 海外研修：500千円			

検証（振り返り）

活動指標 1	指標名						
	令和 3年度実績	令和 4年度予定	令和 4年度実績	令和 5年度予定			
活動指標 2	指標名						
	令和 3年度実績	令和 4年度予定	令和 4年度実績	令和 5年度予定			
成果指標 1	指標名	ゾウの繁殖頭数					
	令和 3年度実績	令和 4年度目標	令和 4年度実績	令和 5年度目標			
		0	0	1			
成果指標 2	指標名						
	令和 3年度実績	令和 4年度目標	令和 4年度実績	令和 5年度目標			
項目	判定	理由					
事業の成果 （目的をどの程度達成できたか）	A	これまで実施してきた研修等の成果として、アジアゾウの準間接飼育技術を習得、飼育に反映するとともに、「パール」の妊娠が判明、出産に向けた準備を進めた。					
事業規模 （事業ボリュームは適切か）	A	専門家による研修は他園でも実施しており、研修期間も年2回、各1週間程度と規模として妥当である。					
事業の実施手法 （事業の効率性、実施主体は適切か）	A	準間接飼育下での繁殖については、国内に事例がなく、海外専門家による研修が必要であった。					
対象者の満足度 （対象者のニーズに込えているか）	A	目標の繁殖頭数達成が見えた。					
市民参加の実施	企画	実施	評価	対象外	市民参加結果への対応	回答	反映
今後の改善点	なし。継続して専門家による研修を受け、飼育環境を整えていく。						
前回の評価	<input type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input type="radio"/> C	評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし				見直し効果額 （前年度）	0 千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A	<input type="radio"/> B	<input type="radio"/> C	<input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	アジアゾウ「パール」の妊娠が判明したため						
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止					
		取組内容には変更はなし					
次年度の取組の方向性・改善内容	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 縮小 <input type="radio"/> その他					
		海外専門家による研修の実施回数、規模の縮小				見直し効果額	2,900 千円